

カリキュラム

(工業専門課程インテリア・建築デザイン科 (3年制) (インテリアデザインコース) 令和元年度)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			建築デザイン史	今日の建造物の造形意匠を理解する上で最も基礎となる近代建築に関する意匠の諸相を中心に講述する。	1・前	24		○			○		○		
○			建築環境工学	人々が快適に過ごすため、建築における、光環境、採光、温熱環境や日射などの原理を学び、快適な室内環境の創造のため知識を知る。	1・後	18		○			○		○		
○			建築一般構造	各種構造方式の木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート造などの概要を講述する。	1・前	30		○			○		○		
○			建築材料学	建築物を構成する材料。主にセメント・コンクリートを中心に金属材料・木材などの諸性質について解説する	1・後	30		○			○		○		
○			基礎製図演習	建築製図の基礎的演習として各種建築図面の手描きトレースを実施する。	1・前	42		△	○		○		○		
○			建築CAD演習Ⅰ	CAD室のパソコンを利用し、各種基本設計図面のCAD操作を実習指導する。	1・前	36			○	△	○		○		
○			建築CAD演習Ⅱ	CAD室のパソコンを利用し、各種基本設計図面のCAD操作、図面表現を実習指導する。	1・後	36			○	△	○		○		
○			設計演習Ⅰ	建築設計の第一歩である最も身近な建築である「住宅」の設計課題に取り込む。	1・前	73			○	△	○		○		
○			設計演習Ⅱ	専用住宅に始まり中規模な建物をもつ要素を含んだ建築物の設計課題に取り込む。	1・後	168			○	△	○		○		
○			図学 (ドローイング)	鉛筆による立体描写に始まり、平面図・立面図・展開図からパースラインを意識した透視図の簡略図法 (M点法)、2消点簡略図法そして着色トレーニングを課題とする	1・前	36			○	△	○		○		
○			色彩学	人は生活をより快適に過ごすために、「色彩」が果たす役割は非常に大きなものがあり、その重要な色彩を自在に使うには知識と技術が必要である。色彩感覚に自信がないひとでも、配色や色の持つ固有のイメージや、補色や同系色といった組み合わせの理論を知ると色を選ぶ決断が容易になる。	1・前	11		△	○		○		○		

(工業専門課程インテリア・建築デザイン科(2年制) (インテリアデザインコース) 令和元年度)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			モデリング	平面的表現である図面を読み取り、立体的な表現方法にし、空間を想像する。各種材料の利用方法とそれらの加工をする用具の使用技術を身につける。模型の目的別、範囲別の種類(スタディ、外観、インテリア、外構、軸組)を知る	1・前	33			○	△	○		○		
○			インテリア計画	演習を交えながら、実践的に必要な室内空間計画の動線を知る。各部屋の役割と生活行為を創造する。	1・前	18		△	○		○		○		
○			店舗設計	店舗設計では、商業空間イメージの発展のさせ方、エスキーススケッチの描き方、店舗図面のルール・作図など一連の流れを知る。	1・前	61			○	△	○		○		
○			プレゼンテーション演習	設計演習にて設計した自らの作品をいかに分かりやすく的確に効果的に第三者に理解してもらうための表現方法、技術を身につける	1・後	36		△	○		○		○		
○			志学Ⅰ	KBC学園の教育理念に掲げられた「人材」を目指し、人間性を磨き各自の「志」をたてるために「学生クレド」について理解を深め、望ましい価値観や考え方を身に付ける	1・通	19		○	△		○		○		
○			インターシップ1	関連企業を通し、資格や先進技術、職種の構成をしり、実作業を体験する中で学んでいる内容がどのように展開されているかを知り、自らの就職活動に役立てる。	1・後	60			○			○	○	○	
○			色彩士検定対策	色彩学で学んだ知識を色彩士検定3級で理解度を位置づける。	1・前	24		○			○		○		
○			LSP	①インテリア、建築、ファッションの領域を超えて様々な環境・人・モノ・コトを多角的な視点で考察する ②与えられたテーマを基に、商品企画から制作、販売までの流れを知る ③グループ学習を通し他者の意見を理解し、お互いの価値を認める	1・通	39		△	○		○	○	○	○	
○			就職実務/企業研究	働くとはどういうことか、業種や職種、仕事と責任、コミュニケーション等 前向きに就職活動が進められるよう働くための基礎を身につける	1・通	111			○		○		○		
○			フォローアップ演習	前期試験、後期試験、課題演習での振り返りを行い内容を強化、おさらい、確認をし 弱点強化を目的として行う	1・後	33		△	○		○		○		
○			家具制作	前期設計課題の住宅設計やインテリア計画で空間寸法を学んだ知識を実寸の家具制作に落とし込む。家具を設計することで、インテリア空間を読み取る考察力を身につける。	1・後	33			○	○	○		○		

(工業専門課程インテリア・建築デザイン科(3年制) (インテリアデザインコース) 令和元年度)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築法規Ⅰ	建築基準法の意義・構成・用語・面積算定・単体規定・集団規定の必要性を講述する。	2・前	30		○			○		○		
○			建築設備	電気設備、給排水・衛生設備、空調設備、防災設備、搬送設備等テキスト及び実物の見学も含め学習する。	2・前	30		○			○		○		
○			構造力学	構造力学の基礎、断面の性質、建築構造物を合理的かつ経済的に設計するための基礎となる力学について講述する。	2・前	30		○			○		○		
○			建築施工Ⅰ	建築物の構築の流れ、設計監理としての確認事項等を理解する。	2・前	24		○			○		○		
○			西洋建築史	西洋建築様式の形態的特徴や美術・宗教・生活・政治・地理等との関わり、及びこれらが現代とどう結びついているかなど、テキスト及び映像を使い講述。	2・後	30		○			○		○		
○			建築計画Ⅰ	住宅建築設計の居住空間において、人間が安全で快適に過ごすための動線計画から、空間構成、形態、利用者心理、環境配慮といった基礎を学ぶ。	2・前	30			○		○		○		
○			建築都市設計演習	建築設計の基礎的手法を知り、更に動線計画といった計画的領域から、空間構成、形態、利用者心理、環境配慮といった設計方針に至る一連の作業を考察する。	2・前	167			○	△	○		○		
○			建築CAD演習Ⅲ	CAD室のパソコンを利用し、各種基本設計図面のCAD操作を実習指導する。	2・前	21			○	△	○		○		
○			2級建築士対策(学科)	2級建築士学科の建築計画・建築法規・構造力学・建築施工の4教科の合格ライン(原則60点)と、各学科の合格ライン(原則13点)の両方を満たすため実施する	2・後	60			○		○		○		
○			2級建築士対策(製図)	建築に関する知識・技術を身につける。また、製図試験に必要な建築計画・製図スキルを習得する。試験時間内(5時間)の課題の要件(依頼主)を設計条件から読取	2・後	162			○		○		○		
○			BIM演習1	Vetorworksソフトを使い2次元から3次元の作図する。BIMの特徴である図面からモデリングの視覚化の表現を身につける。	2・後	16			○	△	○		○		○
○			プレゼンテーション演習	自分が設計した作品をクライアントや第三者に的確に、効果的に理解してもらうための表現技術を修得する。	2・後	48		△	○		○		○		

(工業専門課程インテリア・建築デザイン科(3年制) (インテリアデザインコース) 令和元年度)

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築CAD検定対策	建築CADIII習得した技術・知識を建築CAD2級で理解度を位置づける。	2・後	14			○		○				
○			インテリア概論	建築の形態と空間構成の要素を学び、建築の美の原理(空間造形の基本)を解明していく。また、各デザイナーの思想をに触れることでデザインポキャブラリーの集積とする。	2・前	14			○		○				
○			志学II	志高く生きた人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てる。	2・前	15			○		○				
○			インターシップ2	インテリア・建築を志す学生が進路の決定する上での助けとなるように、実際の設計事務所、施工現場、家具販売などの制作活動、仕事の進め方に接し実社会において働く心構えを持たせることを目的とします。	2・前	30			○		○				
○			インテリア計画	演習を交えながら、実践的に必要な室内空間計画のポイントをおさえる	2・前	22			○		○				
○			LSP(ライフスタイルプログラム)	①インテリア、建築、ファッションの領域を超えて様々な環境・人・モノ・コトを多角的な視点で考察する ②与えられたテーマを基に、商品企画から制作、販売までの流れを知る ③グループ学習を通し他者の意見を理解し、お互いの価値を認める	2・通	60			△	○	○	○	○		
○			就職実務企業研究	国内外の建築・インテリアデザイン作品を各自で取り上げ、その時代の建築家・デザイナーとその思想、社会状況、デザイン、技術等について理解を深める。広く社会の中における建築・インテリアの職務について学ぶ。	2・通	51			○		○				

(工業専門課程インテリア・建築デザイン科(3年制) (インテリアデザインコース) 令和元年度)																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			設計演習Ⅲ	国内外の建築・インテリアデザイン作品を各自で取り上げ、その時代の建築家・デザイナーとその思想、社会状況、デザイン、技術等について理解を深める。広く社会の中における建築・インテリアの職務について学ぶ。	3・前	96		○			○					
○			建築環境工学Ⅱ	建築における、光環境、採光、温熱環境や日射などの原理を学び、快適な室内環境の創造のため知識を習得する。	3・前	18		○			○		○			
○			建築構造設計	建築一般構造と基礎構造力学を理解し、構造設計に関する基本的な知識と技術を習得し、構造設計の本質的な部分を理解する。	3・前	30		○			○		○			
○			構造力学Ⅱ	1) 何故建物が自立しているか、力のつりあいと荷重の種類を理解し、建物に作用する応力(ストレス)を理解する。 2) モーメント、単純梁・単純ラーメンに作用する反力の計算方法と曲げモーメント図を学ぶ。 3) 断面の性質を理解し、応力度の概念を理解する。	3・前	30		○			○		○			
○			建築施工Ⅱ	施工基本的な用語や各工事の工法、技術に基づいて完成していくのかを系統的に学び、建築施工の基本的事項を習得する。	3・前	18		○			○		○			
○			BIM演習Ⅱ	BIM演習Ⅰの復習、Vetorworksソフトを使い2次元から3次元の作図する。BIMの特徴である図面からモデリングの視覚化の表現を身につける。	3・後	18					○	○		○	○	
○			卒業研究	3年間の学習成果として、テーマ性がより社会的となったり、完成された形態に芸術性を求めたりという具体的に公共性・総合性を設計行為を考察する。	3・後	264					○	○		○		
○			プレゼンテーション演習	自分が設計した作品をクライアントや第三者に的確に、効果的に理解してもらうための表現技術を修得する。	3・後	36					○			○		
○			インテリアコーディネーター対策 学科・実技	インテリアに関心を寄せる消費者に、住まいのインテリア家具から材料までプランニングからプレゼンテーションまで知識・技術を身につける。また、2次試験に必要な製図・着彩スキルを習得する。	3・後	150					○			○		
○			建築計画Ⅱ	人が集える公共空間の基礎的手法を習得し、更に動線計画といった計画的領域から、空間構成、形態、利用者心理、環境配慮といった基礎知識を習得する。	3・前	30					○			○		
○			志学Ⅲ	志高く生きた人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てる。	3・前	90		○			○			○		
○			インターシップ	インテリア・建築を志す学生が進路の決定する上での助けとなるように、実際の設計事務所、施工現場、家具販売などの制作活動、仕事の進め方に接し実社会において働く心構えを持たせることを目的とします。	3・前	168					○			○	○	
合計					5 4 科目	2773	504	1987	315							
						2773 504 1987 315										
合計					5 4 科目	2773 504 1987 315										(単位)
						2773 504 1987 315										(単位)